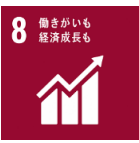


武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	生活困窮者就労支援事業				
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 1 地域福祉				
	所管部署	健康福祉 部	福祉総務 課	市民なやみごと相談 係	内線	155
	根拠法令等	生活困窮者自立支援法				
目的	就労に問題を抱える生活困窮者に対して、個々の状態に応じた求人開拓や職業安定所への同行、就職後のフォローアップ等により、安定した就労への道筋をつけることを目的とする。				SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も 	
内容	生活困窮者を対象として、プラン作成、求人開拓、職業安定所への同行、就職後のフォローアップ等の支援を実施する。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	就労決定者数	人
			実績	42	28	
			達成率	84%	56%	
2	就労支援対象者数	人	目標	50	50	50
			実績	79	59	
			達成率	158%	118%	


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		4,838	5,594	6,897		令和4年第1回予算特別委員会において、市議会議員より困窮者の就労支援事業について質問があり、委託にて就労支援事業に取り組むと回答している。
財源内訳	一般財源	1,209	1,398	1,725		
	国都支出金	3,629	4,196	5,172		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		4,838	5,594	6,897		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
就労支援対象者数59人、就労決定者数28人であった。 (令和3年度までは会計年度職員、令和4年6月以降は委託により支援を実施している。)	ハローワークと連携しているが、その市内企業の求人開拓が不十分であるため、市内企業への就労実績を上げることにより市の就労支援の取組をアピールする必要がある。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
本事業は、生活困窮者自立支援法における必須事業である。 現在の委託事業者とは令和9年3月までの業務委託契約を締結しており、引き続き支援を行うため現状維持とする。																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>				今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	生活困窮者及び被保護者就労準備支援等事業				
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 1 地域福祉				
	所管部署	健康福祉 部	福祉総務 課	市民なやみごと相談 係	内線	155
	根拠法令等	生活困窮者自立支援法				
目的	直ちに就労を開始することが難しい生活困窮者及び生活保護受給者に対して、最終目標である就労への道筋をつけることを目的とする。				SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も	
内容	直ちに就労を開始することが難しい生活困窮者及び生活保護受給者に対して、個々の状態に応じた生活指導や社会参加訓練を実施する。 また、就労の開始に限らず障害認定を支援するなど、各種福祉制度を活用して利用者を社会的に自立させることも本事業に含まれる。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	就労準備支援等事業実施者数	人
			実績	3	15	
			達成率	100%	500%	
2	就労準備支援等事業継続者数	人	目標	3	3	13
			実績	3	13	
			達成率	100%	433%	

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費(千円)	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	平成28年第1回市議会的一般質問において、市議会議員より生活保護受給者への就労支援について質問があり、就労準備支援等事業に取り組むと回答している。		
財源内訳						
一般財源	1,166	1,166	1,166			
国都支出金	2,332	2,332	2,332			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
会計年度任用職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)	3,498	3,498	3,498			

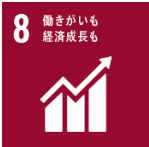
視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
新規利用者12名、前年度からの継続利用者3名であった。	ひきこもりなどにより、就労準備支援であっても参加できない市民をいかに掘り起こしていくかが課題である。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
	生活困窮者自立支援法における任意事業である本事業を利用する市民の居場所づくりに役立っている側面がある。																							
	現在の委託事業者とは令和8年3月までの業務委託契約を締結しており、引き続き就労の支援を行うため現状維持とする。																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			今後の方針			成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下		
今後の方針																								
成果	コスト																							
	削減	維持	増加																					
向上																								
維持		○																						
低下																								

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	生活困窮者及び被保護者就労準備支援等事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 1 地域福祉		
	所管部署	健康福祉 部	生活福祉 課	保護第一・保護第二・経理・医療 係 内線 163
	根拠法令等	生活困窮者自立支援法		
目的	生活困窮者及び被保護者が、就労のための基礎能力を身に付け安定的な就労に就き、自立を図ることを目的とする。		SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も 	
内容	平成28年10月から事業委託により、福祉総務課（生活困窮者が対象）と共同実施するもの。被保護者に対する就労準備支援等事業（支援の開始、支援計画の作成、支援活動の報告、支援の連携、連絡会議の実施、日常生活自立の関する支援、社会生活自立に関する支援、就労自立に関する支援等）を実施する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	就労自立支援により就職した人数	人	目標	7	6	6
				実績	4	4	
達成率				57%	67%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		3,498	3,498	3,498	
財源内訳	一般財源	1,166	1,166	1,166	
	国都支出金	2,332	2,332	2,332	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		3,498	3,498	3,498	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当


令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
【支援対象者数（令和5年3月末現在）】 ●生活自立支援：20人 ●社会自立支援：4人 ●就労自立支援：4人 ●被支援者合計：28人 ※令和4年度に就労自立支援を行った者のうち4人が就労決定した。	本事業は、生活困窮者及び被保護者が社会生活を身に付け、就労により自立することを目指すものであるが、支援対象者の中には、引きこもり等が続いており、自立に向けた長期的な支援が必要になる場合がある。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 生活困窮者及び被保護者が、就労のために必要な基礎能力を身に付け、自立を図ることができるよう、「生活自立支援」、「社会自立支援」、「就労自立支援」を支援対象者に合わせて適切に行っていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）																						

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		生活困窮者及び被保護者就労準備支援等事業	
所管部署		健康福祉部 福祉総務課 市民なやみごと相談係 健康福祉部 生活福祉課 経理・医療係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・市民との協働により事業を実施しているか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・受益者負担は適切か ・施策への貢献度は適切か 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託等は可能か ・事業費の更なる削減は可能か ・類似事業等との統合は可能か 	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
総合評価	<p>本事業は、直ちに就労が困難である生活困窮者及び被保護者を対象として、個々の状態に応じた生活指導や社会参加訓練などの就労準備支援を行うものであり、その意義は十分に認められることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>また、支援員を常駐させて利用者の状態に応じたきめ細かな支援を行うとともに、毎月の報告により継続的に実績を把握していることや、関係団体と連携しアウトリーチにより本事業の利用につなげていることは評価できる。</p> <p>今後も、真に支援が必要な人に本事業が行き届くための努力を継続していくことが肝要である。</p>		

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	権利擁護推進事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 1 地域福祉		
	所管部署	健康福祉 部	福祉総務 課	福祉総務 係 内線 152
	根拠法令等	成年後見制度の利用の促進に関する法律		
	目的	全ての人の権利と利益が守られ、住み慣れた地域の中で、安心、快適に暮らしていけるまちづくりを推進する。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	福祉サービスの利用援助、福祉サービス利用者等からの苦情対応、認知症高齢者、知的障害者等の権利擁護、成年後見制度の利用支援など、福祉サービス利用者等に対する支援の充実を図る。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	福祉サービス総合支援事業における新規相談件数	件	目標	74	111	111
				実績	111	103	
達成率				150%	93%		
2	成年後見活用あんしん生活創造事業における利用手続支援の新規相談件数	件	目標	65	94	94	
			実績	94	77		
			達成率	145%	82%		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		19,486	19,605	21,158
財源内訳	一般財源	11,735	11,854	11,784
	国都支出金	7,751	7,751	9,374
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	479	459	462
	所要人員(人)	0.06	0.06	0.06
	会計年度任用職員(千円)	14	15	15
	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01
合計(事業費+人件費)		19,979	20,079	21,635


市民・議会等から寄せられた意見	
令和2年3月に報告した「市民意識調査報告書」において、地域福祉権利擁護事業については名称も内容も知らないと回答した市民の割合が最も高くなった。このことから、制度周知をより強化していく必要があると考えている。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効果性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
福祉サービス総合支援事業については、合計相談件数が4,067件であり、そのうち103件が新規相談となっている。制度の延べ利用者数は増加しているものの、新規相談件数については微減となっている。 成年後見活用あんしん生活創造事業における利用手続支援件数については、合計相談件数が3,346件であり、そのうち77件が新規相談となっている。制度の延べ利用者数は増加しているものの、新規相談件数については微減となっている。	権利擁護制度を必要としている全ての人に対して内容が行き届いているか、関係機関との連携が果たされているかなど、様々な課題がある。このことから、中核機関を令和6年度中に設置するための検討を早期に進めていく必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
「第五次地域福祉計画」に内包する「武蔵村山市成年後見制度利用促進基本計画」において、地域連携ネットワークの構築と成年後見制度利用促進に係る中核機関を設置することを定めていることから、関係機関と協議を進め、計画の推進を図っていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	とうきょうママパパ応援事業（産後ケア事業）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども子育て支援 課	母子保健 係 内線 621
	根拠法令等	母子保健法		
目的	家族等から十分な育児等の支援が得られず、心身の不調や育児不安等を抱える生後6か月以内の乳児とその母親を対象に、母親の身体的回復や心理的な安定を促進することを目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 		
内容	本市における産後ケア事業は、短期入所事業、通所事業及び居宅訪問事業の3つの事業を実施する。居宅訪問事業は令和4年6月から実施し、短期入所事業及び通所事業は同年9月から実施した。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	短期入所事業、通所事業、居宅訪問事業の事業利用者延べ人数	人	目標	—	50	50
				実績	—	12	
				達成率	—	24%	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		0	4,883	13,208
財源内訳	一般財源	-	1	0
	国都支出金	-	4,882	13,208
	その他	-	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	798	3,821	3,846
人件費	所要人員（人）	0.10	0.50	0.50
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		798	8,704	17,054


市民・議会等から寄せられた意見	
令和3年第2回市議会定例会で、産後の母親等に対するケアの重要性について一般質問があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
居宅訪問事業については居宅訪問者（助産師）と委託契約を締結し、令和4年6月から事業を開始した。短期入所事業及び通所事業については委託先医療機関と委託契約を締結し、同年9月から事業を開始した。各事業の利用実績について、居宅訪問事業4回、短期入所事業5回、通所事業3回であった。なお、会計年度任用職員の人件費は事業費に含む。	法律上は生後1年を経過しない乳児及びその母親を対象としていることから、今後、対象者の拡大について検討を進める。

今後の方針																			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																		
母子保健法の改正により、令和3年度から産後ケア事業の実施が市町村の努力義務として法定化された。近年、核家族化や晩婚化、若年妊娠等によって、産前産後の身体的、精神的に不安定な時期に家族等の身近な人の助けが十分に得られず、不安や孤立感を抱いたり、うつ状態の中で育児を行う母親が少なからず存在している状況にあることから、本事業は今後も継続して実施する必要があると考える。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下			
今後の方針		コスト																	
成果	向上	削減	維持	増加															
	維持		○																
	低下																		
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																			

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	とうきょうママパパ応援事業（出産子育て応援事業）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども子育て支援 課	母子保健 係 内線 621
	根拠法令等	武蔵村山市出産・子育て応援事業実施要綱		
目的	市内の全ての子育て家庭に対して妊娠期から保健師等が面接、相談等を行い、出産・子育てに関する不安を軽減することを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ●妊婦の心身の状態及び家庭状況を把握するため、母子健康手帳交付時に妊婦の全数面接を実施する。 ●面接を受けた妊婦に対し、子育て用品等の育児パッケージを配布する。 			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	妊婦の面接者数	人	目標	460	460	460
							実績	394	347	
							達成率	86%	75%	
2	—	—	目標	—	—	—				
			実績	—	—					
			達成率	—	—					


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—			
事業費（千円）	16,109	12,524	126,224				
財源内訳	一般財源	1,105	17				19,493
	国都支出金	15,004	12,507				106,731
	その他	0	0				0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0				0
	所要人員（人）	0.00	0.00				0.00
	会計年度任用職員（千円）	0	0				0
	所要人員（人）	0.00	0.00				0.00
合計（事業費+人件費）	16,109	12,524	126,224				

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある			
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>347人に母子健康手帳を交付し、同数の面接を実施した。</p> <p>また、面接を受けた妊婦を対象として、1万円分の育児パッケージを配布した。</p> <p>なお、正規職員人件費及び会計年度任用職員人件費は、事業費に含む。</p>	<p>課題は特にないが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、妊娠届出者数が減少している（令和元年度：484人、令和2年度：407人、令和3年度：394人、令和4年度：347人）。</p>

今後の方針																								
<p>【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>今後も、妊婦の全数面接を継続し、面接により産後の支援が必要な方を把握したときは、産後ケア事業につなげていく取組を進める。</p> <p>また、令和5年度から新たな支援策として、出産・育児等の見通しを立てるための面談や、子育て支援に関する継続的な情報発信を通じて必要な支援につなげる「伴走型相談支援」と、妊娠届出や出生届出を行った妊婦等に対し、出産育児関連用品の購入費等の負担軽減を図る「経済的支援」を一体として実施する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持				○	低下				
				今後の方針																				
		コスト																						
成果	向上	削減	維持	増加																				
	維持				○																			
	低下																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	とうきょうママパパ応援事業（多胎児家庭支援事業）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども子育て支援 課	母子保健 係 内線 621
	根拠法令等	武蔵村山市多胎児家庭家事育児サポーター事業実施要綱 武蔵村山市多胎児家庭移動経費支援事業実施要綱		
	目的	多胎児を養育する家庭を対象として、家事育児サポーターによる育児等の支援を行うほか、母子保健事業等を利用する際の移動費用の一部を助成し、多胎児家庭の育児等の負担を軽減することを目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 	
内容	家事育児サポーターの利用時間の上限は、1歳未満240時間、2歳未満180時間、3歳未満120時間である。移動経費の助成は、1年間に支出したタクシー料金の実支出額と24,000円を比較していずれか低い額を助成する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	家事育児サポーター事業利用者数	組	目標	10	9	7
				実績	2	3	
達成率				20%	33%		
2	移動経費支援事業利用者数	組	目標	10	9	7	
			実績	0	0		
			達成率	0%	0%		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		363	120	4,019
財源内訳	一般財源	0	1	76
	国都支出金	284	93	3,568
	その他	79	26	375
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,037	994	1,000
	所要人員（人）	0.13	0.13	0.13
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		1,400	1,114	5,019


市民・議会等から寄せられた意見	
-	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性 <td rowspan="2">市民のニーズに適合しているか</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適合している</td> <td><input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当</td>	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性 <td>廃止・休止した場合の市民への影響</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい</td> <td><input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当</td>	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性 <td>民間委託等は可能か</td> <td><input type="checkbox"/> 困難である</td> <td><input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当</td>	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●家事育児サポーター利用者数 3組 (内訳：1歳未満1組、2歳未満0組、3歳未満2組) ●家事育児サポーター利用時間 52時間 (内訳：1歳未満2時間、3歳未満50時間) ●移動経費支援事業利用者数 0組 	移動経費支援事業は令和2年11月から、家事育児サポーター事業は令和3年10月から開始した事業であるが、両事業とも実績が目標値を下回っている。 母子健康手帳の交付時に対象者に対して事業の周知を図っているが、今後も事業の周知に努め、利用者数の増加を図る必要がある。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
本事業は、同時に2人以上を育児することに伴う身体的、精神的、経済的負担を軽減し、多胎児家庭が安心して子育てをする環境を整備するために必要な事業であり、今後も制度の周知に努め、事業を継続して実施する。																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>				今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	病児保育事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部 子ども子育て支援 課 子ども家庭支援センター 係 内線 621		
	根拠法令等	児童福祉法 子ども・子育て支援法		
目的	病中又は病気の回復期にあって集団保育を受けることが困難な期間にある児童を、医療機関併設の専用施設において一時的な保育を行うことにより、児童の健全な育成及び資質の向上に寄与するとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援することを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 	
内容	体温の管理等により、児童の健康状態を的確に把握するとともに、当該児童の状態に応じ、安静を保てるような処遇をすることにより、病気の回復期にある児童に対して適切な保育を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	病児保育の延べ利用人数	人
			実績	311	296	
			達成率	72%	66%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		10,732	10,800	11,256	
財源内訳	一般財源	1,228	1,548	1,440	
	国都支出金	9,504	9,252	9,816	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	439	459	462	
	所要人員(人)	0.06	0.06	0.06	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		11,171	11,259	11,718	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴い、近年利用実績が大幅に変動しつつある。令和4年度については、令和3年度までの回復傾向から一転し、減少した。 【実績(延べ利用人数)の推移】 令和元年度…396人 令和2年度…88人 令和3年度…311人 令和4年度…296人	コロナ禍が一段落したことにより、今後は利用ニーズの増加が見込まれるため、引き続き本事業の普及啓発に努め、サービス利用を検討する家庭に本情報を浸透させる。また、委託先の法人とも連携の上、市内保育所等にも周知を進める。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本事業は、病児保育の実施を通じて児童の健全な育成及び資質の向上に寄与するとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援することを目的としていることから、今後も継続する必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	子どもショートステイ事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部 子ども子育て支援 課 子ども家庭支援センター 係 内線 621		
	根拠法令等	児童福祉法第 子ども・子育て支援法		
目的	保護者が家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合や、経済的な理由により緊急一時的に当該児童を保護することが必要な場合等に養育及び保護を行うことを目的に実施する。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 		
内容	本事業を実施するに当たり、児童養護施設を有する社会福祉法人に委託し、主に以下の内容を行う。 (1)食事の提供及び身の回りの世話に関すること。 (2)遊び、学習等の生活指導に関すること。 (3)通園又は通学の援助に関すること。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	ショートステイの利用日数（延べ日数）	日
			実績	80	132	
			達成率	54%	89%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見 国や東京都が掲げる子ども・子育て施策においても、児童虐待防止、要保護児童の緊急保護等のため、本事業の充実を求められているところである。
事業費（千円）		3,147	3,330	3,605	
財源内訳	一般財源	1,862	1,593	1,598	
	国都支出金	1,285	1,737	2,007	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	718	688	693	
	所要人員（人）	0.09	0.09	0.09	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		3,865	4,018	4,298	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が残りつつも、徐々にコロナ禍以前の利用水準に回復した。 【実績（利用延べ日数）の推移】 令和元年度…148日 令和2年度…137日 令和3年度…80日 令和4年度…132日	真に本事業の利用を必要とする児童が、適切に利用することができるよう、事業の普及啓発はもちろんのこと、子ども家庭相談の場のなかで、潜在的なニーズを引き出し、事業に結び付ける必要がある。

所管課の評価	今後の方針																								
	【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
	本事業は、保護者が家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合等に児童を養護、保護等を行うことを目的としており、児童福祉の観点からも、引き続き実施する必要がある。																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>						今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
			今後の方針																						
コスト																									
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																									

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	休日保育事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	子ども子育て支援法、みらい保育園休日保育実施要項		
	目的	日曜日等の休日に、保護者の就労のため保育を必要とする子どもへの対応並びに保護者の子育て及び就労支援を目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 	
内容	休日保育の利用時間は、本市の保育認定に応じて、日曜日（祝日は準備ができ次第の受入れ）の7時から18時の間で保育を必要とする時間とする（年末年始は除く。）。また、定員は10名とし、利用料金は徴収しない。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	休日保育の実施設数	施設	目標	1	1
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	休日保育（定員10名）の延べ利用人数	人	目標	60	60	60
			実績	14	5	
			達成率	23%	8%	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
事業費（千円）	3,328	3,345	3,286	-		
財源内訳						
一般財源	1,172	1,157	1,137			
国都支出金	2,010	2,047	2,008			
その他	146	141	141			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	52	50	50			
所要人員（人）	0.01	0.01	0.01			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	3,380	3,395	3,336			

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性	見直し	非該当
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある		
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		
市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		
廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当		
受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当		
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある			
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当		
事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		
類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度の延べ利用者数は5人であり、令和3年度の14人から減少した。	みらい保育園は、令和2年度から令和5年度まで4年間実施していることから、令和6年度より本事業を他の保育園へ移行することを要望している。

今後の方針																										
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																										
令和2年度よりみらい保育園で開始した事業であり、休日の保育利用を必要とする保護者が一定数いることから就労支援の一環として実施している。保護者は平日勤務が多く、休日の保育利用は平日と比べて極端に減るものの、需要があることから、今後も本事業の環境を保持し、引き続き保育園に対して事業運営の継続を求めていく必要がある。 今後、みらい保育園での実施から他の保育所等での実施に向けた検討を行う。																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																										

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	巡回指導・相談事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市保育所等巡回指導・相談事業実施要綱		
目的	保育所や幼稚園に在籍する発達障害等を有すると思われる児童等の保育・教育を支援するため、相談員（学識経験者、臨床心理士等）が保育所や幼稚園での児童の状況等を観察の上、関係職員に具体的な指導方針等について助言や相談などを行う。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 		
内容	令和3年度までは、市内の幼稚園4園、認可保育所13園、認証保育所1園を対象に実施していたが、令和4年度から新たに小規模保育所1園を対象に加えて実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	事業実施施設数	施設
			実績	14	14	
			達成率	78%	74%	
2	指導・相談延べ回数	回	目標	80	80	80
			実績	58	55	
			達成率	73%	69%	


事業経費				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算			市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）				1,586			1,492			2,702			
財源内訳	一般財源			260			214			667			
	国都支出金			1,326			1,278			2,035			
	その他			0			0			0			
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			2,470			2,367			2,382			
	所要人員（人）			0.31			0.31			0.31			
	会計年度任用職員（千円）			0			0			0			
	所要人員（人）			0.00			0.00			0.00			
合計（事業費+人件費）				4,056			3,859			5,084			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
対象施設：14施設 巡回指導・相談回数：55回	発達が気になる子どもの入所は増加傾向にあることから、今後は保育士への支援だけでなく保護者への支援が重要となるため、家庭との連携が円滑になるよう働きかけていく必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
毎年、14施設が巡回相談を利用しており、訪問回数も約50回から60回に及んでいる。巡回相談は、相談員（学識経験者、臨床心理士等）の専門的な見地から指導方針等について具体的な助言や相談などを行っており、保育の質の向上に貢献していることから、今後も本事業を継続する必要がある。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下			
		今後の方針																						
		コスト																						
成果	向上	削減	維持	増加																				
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	保育コンシェルジュ事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	子ども・子育て支援事業計画		
	目的	子育て家庭の「個別ニーズ」を把握し、教育・保育施設及び地域子育て支援事業等の利用を目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	平成28年度から実施しており、職員1人及び保育コンシェルジュ会計年度任用職員1人の合計2人を配置している。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
				1	相談件数	件	目標	—	—
							実績	42	50
達成率	—	—							
2	—	—	目標	—	—				
			実績	—	—				
			達成率	—	—				

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		2,643	3,024	3,176
財源内訳	一般財源	0	1,654	0
	国都支出金	0	0	0
	その他	2,643	1,370	3,176
会計年度任用職員以外の職員(千円)		1,133	1,085	1,092
人件費	所要人員(人)	0.14	0.14	0.14
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		3,776	4,109	4,268

市民・議会等から寄せられた意見	
—	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効果率	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
相談件数50件 通常の窓口対応(入所に関する相談)は、子ども青少年事務の会計年度任用職員を含めて全員で対応するが、母子相談員への相談や、子ども家庭支援センターとの連携が必要と思われる家庭内トラブル等を抱える家庭の場合は、保育コンシェルジュが担当し、関係機関等との連絡、調整を行うことにより効果的に保護者への支援を行っている。	—

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 保育コンシェルジュが担っている保育所の対応に関する相談、家庭内トラブルに関する相談等の件数は、令和3年度が42件、令和4年度が50件であり、前年度と比較して増えていることから本事業のニーズは非常に高い。 また、共働き世帯の増加等を要因として今後も保育需要は高いものと想定されることから、保護者のニーズを的確に把握し、適切に保育サービスを提供するとともに、子ども家庭支援センター等と連携し、家庭内トラブルの解決に結び付けるような支援は今後も必要であるため、本事業を継続していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	ベビーシッター利用支援事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市ベビーシッター利用支援事業実施要綱		
	目的	保育所等の入所待機児童の解消に資することを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	0歳から2歳までの待機児童の保護者又は育児休業を1年間取得した後に復職する保護者を対象として、児童が保育所等に入所できるまでの間、東京都が実施するベビーシッター利用支援事業に基づき東京都の認定を受けたベビーシッター事業者を利用する場合の利用料の一部を補助する。			
対象(交付先)	待機児童の保護者、育児休業を満了し復職する保護者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	0歳から2歳までの待機児童の保護者のサービス利用者数	人	目標	—	3
			実績	—	1	
			達成率	—	33%	
2	育児休業を1年間取得した後に復職する保護者のサービス利用者数	人	目標	—	1	1
			実績	—	0	
			達成率	—	0%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額(千円)	0	9	120		—
一般財源	—	5	60		
国都支出金	—	4	60		
その他	—	0	0		
人件費	824	789	794		他市等の状況
会計年度任用職員以外の職員(千円)	—	—	—		
所要人員(人)	0.10	0.10	0.10		
会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)	824	798	914		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額(千円)	0	0	0		交付金額(千円)	9
市補助金	—	—	—		事業経費	9
会費	—	—	—			
繰越金	—	—	—			
事業収入	—	—	—			
その他	—	—	—			
支出	0	0	0		割合(%)	
交際費、飲食費	—	—	—		団体収入に占める補助金の割合	—
人件費	—	—	—		団体収入に占める繰越金の割合	—
事業経費	—	—	—		交付金額に対する繰越金の割合	—
その他	—	—	—			

視点別の分析	公		益		性	
	市の関与は必要か	必要である	見直しの余地がある	市民のニーズに適合しているか	適合している	見直しの余地がある
有効性	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和4年度の利用者は1人であった。	東京都の単年度事業のため、今後事業が継続されるかが課題である。


今後の方針
 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

【今後の方向性】
 本事業は、待機児童解消対策の一環として実施しており、毎年、東京都、全国保育サービス協会及び本市の三者間による連携協力によりベビーシッター利用支援事業(ベビーシッター事業者連携型)に関する協定を締結している。
 本市の待機児童の状況については、新定義では令和4年度に引き続き令和5年度も0人である。ただし、旧定義では令和5年4月1日現在で19人となっているため、必要に応じ市ホームページや窓口において本事業を周知して利用を促進する。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	子どもカフェ運営事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部 子ども子育て支援 課 子ども家庭支援センター 係 内線 621		
	根拠法令等	武蔵村山市子どもカフェ事業実施要綱 武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画		
	目的	乳幼児及びその保護者が気軽に集い、交流を図る場を提供する子どもカフェ事業を実施することにより、乳幼児に安全な遊び場を提供するとともに、保護者の子育てに対する不安感、負担感を緩和し、もって児童福祉の向上及び子育て世代の負担の軽減を図ることを目的とする。	SDGsの取組 17 パートナリーシップで目標を達成しよう	
内容	以下の内容を行う。 (1)乳幼児とその保護者が気軽に集い、交流を図る場の提供 (2)子育てに関する相談の受付及び対応並びに子育て関連情報の収集及び提供 (3)利用者交流会等の開催			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	開催回数	回
			実績	141	142	
			達成率	118%	101%	
2	参加者数	人	目標	1,200	1,400	1,500
			実績	1,140	1,457	
			達成率	95%	104%	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		4,780	4,840	6,078
財源内訳	一般財源	2,390	2,420	3,039
	国都支出金	2,390	2,420	3,039
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	320	459	462
	所要人員(人)	0.04	0.06	0.06
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		5,100	5,299	6,540

市民・議会等から寄せられた意見

市民と市長のタウンミーティングにおいて、市民から「子育て中の保護者が気軽に交流し、育児の疲れを癒してリフレッシュできる場を作っていただきたい」と、本事業の開始を要望された経緯がある。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当


令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が残る中、目標を上回る開催回数及び参加者数の実績であった。 なお、平成30年度に実施した本事業に対する行政評価委員会からの意見に基づき、1か月間、本市西部に位置する三ツ木地区会館を活用し出張子どもカフェ事業を試行実施したところ、参加者には大変好評であり、相応の実績となった。その結果を踏まえて、「子どもカフェ事業在り方検討委員会」を開催し、今後の本事業についての方向性を報告書として取りまとめた。	現在は、委託法人が民家を借り受けて事業を実施しているものの、事業継続に当たっては、貸主の今後の契約に係る意向や当該民家の老朽化に伴う補修の必要性があることが懸念される。 そのため、今後の安定した事業運営に際しては、適切な拠点の確保が必要となると考えられる。また、類似事業等との統合を検討することで、より効果的な親子の居場所づくりを展開したいと考えている。

今後の方針				
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

本事業は、乳幼児及びその保護者が気軽に集い、乳幼児に安全な遊び場を提供するとともに、保護者の子育てに対する不安感、負担感を緩和し、子育て世代の負担の軽減等を図ることを目的としており、今後も継続していく。
なお、今後は、「子どもカフェ事業在り方検討委員会」における検討結果を踏まえ、開催場所の適地を検討するとともに、子ども青少年課が実施する児童館事業と整理統合し、事業内容の充実とコストの抑制に向けて協議、検討等を行っていく方針である。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	子どもの医療費助成事業（乳幼児分）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	手当・青少年 係 内線 185
	根拠法令等	武蔵村山市子どもの医療費の助成に関する条例 武蔵村山市子どもの医療費の助成に関する条例施行規則		
	目的	乳幼児の保健の向上と健やかな育成を図り、もって子育ての支援に資する。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	乳幼児（6歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）を養育している者に対して、病院等で診療を受けた場合に、各保険法の規定に基づき窓口で支払う自己負担分を助成する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
				1	対象人数（各年度末時点）	人	目標	—	—
							実績	3,645	3,456
達成率	—	—							
2	助成金額	円	目標	—	—				
			実績	119,440,414	119,515,223				
			達成率	—	—				


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		135,258	133,983	149,696	
財源内訳	一般財源	70,977	70,190	77,898	
	国都支出金	64,281	63,793	71,798	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	7,976	7,642	7,692	
	所要人員（人）	1.00	1.00	1.00	
	会計年度任用職員（千円）	1,343	1,432	1,425	
	所要人員（人）	1.00	1.00	1.00	
合計（事業費+人件費）		144,577	143,057	158,813	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
医療助成費：119,515,223円 審査支払委託料：3,629,125円 対象人数については、少子化等の影響により減少傾向にある。医療助成費については、令和3年度と比較してほぼ横ばいの状態となっている。	—

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本事業は、乳幼児の医療費を助成することにより、子どもの疾病等の早期発見や治癒の促進など、乳幼児の保健の向上と健やかな育成に大きく寄与する事業であることから、今後も継続すべき事業である。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）																						

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	子どもの医療費助成事業（学齢児童分）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	手当・青少年 係 内線 185
	根拠法令等	武蔵村山市子どもの医療費の助成に関する条例 武蔵村山市子どもの医療費の助成に関する条例施行規則		
	目的	学齢児童の保健の向上と健やかな育成を図り、もって子育ての支援に資する。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 	
内容	学齢児童（6歳に達する日の翌日以後の4月1日から15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）を養育している者に対して、病院等で診療を受けた場合に、各保険法の規定に基づき窓口で支払う自己負担分を助成する。ただし、通院1回につき200円の自己負担がある。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
				1	対象人数（各年度末時点）	人	目標	—	—
							実績	5,421	5,242
達成率	—	—							
2	助成金額	円	目標	—	—				
			実績	125,266,707	127,459,904				
			達成率	—	—				


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	—			
事業費（千円）	140,892	141,662	170,618				
財源内訳	一般財源	1,170	52				3,219
	国都支出金	139,722	141,610				167,399
	その他	0	0				0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	7,976	7,642				7,692
	所要人員（人）	1.00	1.00				1.00
	会計年度任用職員（千円）	1,343	1,432				1,425
	所要人員（人）	1.00	1.00				1.00
合計（事業費+人件費）	150,211	150,736	179,735				

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
医療助成費：127,459,904円 審査支払委託料：3,363,675円 対象人数については、少子化等の影響により減少傾向にある。医療助成費については、令和3年度と比較してほぼ横ばいの状態となっている。	—

今後の方針																									
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
本事業は、学齢児童の医療費を助成することにより、子どもの疾病等の早期発見や治療の促進など、学齢児童の保健の向上と健やかな育成に大きく寄与する事業であることから、今後も継続すべき事業である。 なお、子育て支援をより一層充実させていくため、令和5年10月1日から本事業の所得制限を撤廃する。																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="4">コスト</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		今後の方針				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○	維持			低下		
今後の方針																									
コスト																									
	削減	維持	増加																						
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）																									

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	認可外保育施設利用支援事業補助事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	令和4年度武蔵村山市認可外保育施設利用支援事業補助金交付要綱、東京都認可外保育施設利用支援事業補助要綱、保育所等利用多子世帯負担軽減事業費補助金		
	目的	認証保育所等を利用する児童の保護者に対し、補助金を交付することにより、経済的負担を軽減し、もって児童福祉の増進に資することを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	【利用者支援】保護者の市町村民税所得割課税額により5,000円から20,000円の範囲内で補助する。(市町村民税所得割課税額が143,400円以上の保護者及び無償化給付対象児童は対象外) / 【多子世帯支援】保育料から無償化の給付額(非課税世帯に属する0~2歳児:42,000円、3~5歳児:37,000円)を引いた金額と多子世帯支援の補助金額を比べていずれか低い金額を補助する。			
対象(交付先)	認証保育所を利用する児童の保護者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	利用者支援延べ児童数	人
			実績	50	34	
			達成率	42%	28%	
2	多子世帯支援延べ児童数	人	目標	108	108	108
			実績	55	60	
			達成率	51%	56%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額(千円)	1,547	1,492	4,800		-
一般財源	288	203	1,200		
国都支出金	1,259	1,289	3,600		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	412	395	397	他市等の状況
	所要人員(人)	0.05	0.05	0.05	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(補助金+人件費)	1,959	1,887	5,197		-

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額(千円)	0	0	0	0	交付金額(千円)	1,492
市補助金	-	-	-	-	交際費、飲食費	1,492
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
支出	総額(千円)	0	0	0	割合(%)	
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	-
人件費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	-
事業経費	-	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	-
その他	-	-	-	-		

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	効果率	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和4年度は令和3年度補助実績に比べおおむね横ばいとなった。	-

今後の方針

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了


保育ニーズの多様化により、認可外保育施設の利用者も増加傾向にあると思われる。子ども子育て支援の一環として認証保育所等を利用する児童の保護者に対する経済的負担の軽減を図る観点からも、本補助金は必要であるため今後も継続していく。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

所管課の評価

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	民間保育所運営費補助事業（保育士採用助成特別加算）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	民間保育所運営費補助金交付要綱		
	目的	常勤の保育士の確保に係る派遣業者等へ支払う紹介料又はこれに類する経費の一部を補助することにより、保育内容の充実並びに児童及び職員の処遇向上に寄与し、もって児童福祉の向上を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	対象経費算定基準額30万円と実際に事業者が支出した額を比べて低い方の額を補助する。			
対象（交付先）	市内の民間保育所			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	確保した常勤保育士数	人
			実績	5	8	
			達成率	63%	100%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	1,500	2,400	2,400		-
一般財源	1,500	2,400	2,400		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.05	0.05	0.05		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	1,912	2,795	2,797		-

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円） 2,400
市補助金	-	-	-	-	事業経費 2,400
会費	-	-	-	-	
繰越金	-	-	-	-	
事業収入	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	
支出	総額（千円）				割合（%）
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合
人件費	-	-	-	-	—
事業経費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合
その他	-	-	-	-	—
					交付金額に対する繰越金の割合
					—

視点別の分析	内容	評価	
		必要である	見直しの余地がある
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
補助対象施設数は、令和3年度は3園、令和4年度は6園である。	市内民間保育所から本事業を要望され、平成29年度から実施している。 平成29年度は、東京都市町村総合交付金まちづくり振興割地域特選事業枠による補助を利用したが、平成30年度以降、同補助は「毎年度同一内容で実施されており、定例的であると認められる事業」として採択されないことから、国及び都の補助はない。


【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

保育士採用募集に伴う紹介料等の一部を助成しているものであり、保育士確保の観点から継続することが望まれる。

		今後の方針		
		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	民間保育所運営費補助事業（医療的ケア児支援加算）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	民間保育所運営費補助金交付要綱		
	目的	ネブライザー（吸入器）の管理等が必要な医療的ケア児の入所を受け入れた保育園に対し、保健師人件費の一部を補助することにより、保育内容の充実並びに児童及び職員への処遇向上に寄与し、もって児童福祉の向上を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	対象経費算定基準額45万円と実際に事業者が支出した額を比べて低い方の額を補助する。			
対象（交付先）	民間保育所			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	補助対象施設数	園
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	0	0	0		-
一般財源	-	-	-		
国都支出金	-	-	-		
その他	-	-	-		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	0	0	0		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円）	-
市補助金	-	-	-		使途内訳	
会費	-	-	-			
繰越金	-	-	-			
事業収入	-	-	-			
その他	-	-	-			
支出	総額（千円）	0	0	0	割合（%）	
交際費、飲食費	-	-	-		団体収入に占める補助金の割合	-
人件費	-	-	-		団体収入に占める繰越金の割合	-
事業経費	-	-	-		交付金額に対する繰越金の割合	-
その他	-	-	-			

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	市の関与は必要か					
				市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
				一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	受益がある	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
				補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	明確である	<input type="checkbox"/>	不明確な部分がある	
				補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	効果がある	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
				補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	設定している	<input type="checkbox"/>	設定していない					
						<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和3年度及び令和4年度ともに補助対象となる施設数がないため補助実績なし。	当初予算には計上していないため、補助対象に該当する施設があった場合には予算を補正して対応する。

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了


日常的に医療的ケアを必要とする医療的ケア児を受け入れる環境づくりは重要であり、本事業を継続する必要がある。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

所管課の評価

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	民間保育所分園運営費補助事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	令和4年度武蔵村山市民間保育所分園運営費補助金交付要綱		
	目的	賃貸物件を用いた保育所の分園において児童福祉法第39条の規定による保育を行う保育所分園の設置者に対してその賃借料の一部を補助することにより、保育所分園の整備を促進し、もって保育所待機児童の解消に資することを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	保育所分園の設置者が支払った毎月の賃借料の額と150,000円を比較していずれか少ない額とする。 ※実際の毎月の賃借料：450,000円 建物面積：172.00㎡、敷地面積：654.56㎡			
対象(交付先)	社会福祉法人三宝会 まどか保育園分園(残堀一丁目48番地の3)			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	保育所分園の設置数	施設
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	保育所分園(定員29名)の入所人数(各3月1日付)	人	目標	29	29	29
			実績	29	29	
			達成率	100%	100%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額(千円)	1,800	1,800	1,800		他市等の状況 —
一般財源	1,800	1,800	1,800		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
会計年度任用職員以外の職員(千円)	258	247	249		
所要人員(人)	0.03	0.03	0.03		
会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)	2,058	2,047	2,049		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額(千円)	0	0	0	0	交付金額(千円)	1,800
市補助金	-	-	-	-	賃借料	1,800
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
総額(千円)	0	0	0	0		
支出					割合(%)	
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合	—
人件費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合	—
事業経費	-	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合	—
その他	-	-	-	-		

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	市の関与は必要か				
				市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
				一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
				廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	受益がある	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
				補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない
				補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	明確である	<input type="checkbox"/>	不明確な部分がある
				補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	効果がある	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある
				補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	設定している	<input type="checkbox"/>	設定していない				
			<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある		

令和4年度の実績		補助金交付に当たっての課題	
対象：まどか保育園分園			
補助額：1,800千円			


【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

本補助金は、保育所分園の設置者に対してその賃借料の一部を補助することにより、保育所待機児童の解消に資することを目的としているものである。
本市の待機児童(新定義)の状況について、令和3年度は18人であったが、令和4年度及び令和5年度は0名となっており、今後も待機児童の解消を継続していくためには、保育所分園の運営を維持することが望ましく、本補助金を継続する必要があると考える。

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	保育サービス推進事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	東京都保育サービス推進事業補助金交付要綱 武蔵村山市保育サービス推進事業補助金交付要綱		
	目的	地域の实情に応じて保育サービスの向上を図るため、特別保育事業、地域子育て支援事業等を推進する取組を行う保育所等に対し、その取組に要する費用の一部を補助することにより、保育サービスの質の向上を図り、もって児童福祉の向上に寄与することを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	小規模保育事業者に対し東京都保育サービス推進事業補助金交付要綱に規定する次の①から③までの加算項目ごとに算定した額を補助する。 ①特別保育事業等推進加算、②地域子育て支援推進加算、③第三者評価受審費加算			
対象(交付先)	市内の小規模保育所(大南つばみ保育園)			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	特別保育事業等推進加算の対象となる事業の実施数	事業
			実績	—	3	
			達成率	—	50%	
2	地域子育て支援推進加算の対象となる事業の実施数	事業	目標	—	1	1
			実績	—	1	
			達成率	—	100%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額(千円)	0	2,954	2,399		—
一般財源	—	1,477	1,200		
国都支出金	—	1,477	1,199		
その他	—	0	0		
会計年度任用職員以外の職員(千円)	824	789	794		他市等の状況
所要人員(人)	0.10	0.10	0.10		
会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)	824	3,743	3,193		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
総額(千円)	0	0	0		交付金額(千円) 2,954
市補助金	—	—	—		事業経費 2,954
会費	—	—	—		
繰越金	—	—	—		
事業収入	—	—	—		
その他	—	—	—		
総額(千円)	0	0	0		
支出					割合(%)
交際費、飲食費	—	—	—		団体収入に占める補助金の割合 —
人件費	—	—	—		団体収入に占める繰越金の割合 —
事業経費	—	—	—		交付金額に対する繰越金の割合 —
その他	—	—	—		


視点別の分析	内容	評価	
		○	□
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
率	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

所管課の評価	令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
	<p>令和4年度は、小規模保育所(大南つばみ保育園)において各種加算の対象となる次の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特別保育事業等推進加算 「零歳児保育対策実施かつ産休明け保育実施」、「障害児保育」及び「育児困難家庭への支援」に該当する事業を実施した。 ●地域子育て支援推進加算 「保育拠点活動支援」に該当する事業を実施した。 	—

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
<p>本事業は、平成27年4月から始まった子ども・子育て支援新制度における地域型保育事業の一環であり、地域における多様なニーズにきめ細かく対応し、質が確保された保育を提供することにより、0歳児から2歳児までの低年齢児の待機児童対策にも寄与するものである。</p> <p>本市では、特別保育事業等推進加算の対象のうち六つ(①零歳児保育対策実施かつ産休明け保育実施、②アレルギー児対応、③育児困難家庭への支援、④外国人児童受入れ、⑤障害児保育、⑥休日保育)を推進したいと考えており、未実施の三つについては今後取組できるよう働きかけていく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	保育力強化補助事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市保育力強化事業補助金交付要綱、保育力強化事業補助要綱		
	目的	地域の实情に応じた多様な保育ニーズに対応する事業を実施する認証保育所に対し、事業に要する経費を補助することにより、児童福祉の増進を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	障害児保育、アレルギー児対応、外国人児童受入れ、第三者評価審議費等のうち東京都が定める当該年度の「子供家庭支援区市町村包括補助事業における保育力強化事業の算定基準について（通知）」により算出した額の合計額			
対象（交付先）	認証保育所 アレグロバンピーノ			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	保育力強化事業数	事業
			実績	1	1	
			達成率	20%	20%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	716	673	1,876		-
一般財源	0	0	0		
国都支出金	716	673	1,876		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.05	0.05	0.05		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	1,128	1,068	2,273		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円） 673	
市補助金	-	-	-		人件費 673	
会費	-	-	-			
繰越金	-	-	-			
事業収入	-	-	-			
その他	-	-	-			
支出	総額（千円）					
交際費、飲食費	-	-	-			
人件費	-	-	-			
事業経費	-	-	-			
その他	-	-	-			
					割合（%）	
					団体収入に占める補助金の割合	-
					団体収入に占める繰越金の割合	-
					交付金額に対する繰越金の割合	-

視点別の分析	内容	評価	
		必要である	見直しの余地がある
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
率	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和4年度も前年度に比べおおむね同額の補助実績となった。	-


【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

多様な保育ニーズに対応し、地域の实情に応じた保育サービスの向上を図るため、認証保育所の障害児保育、アレルギー児対応等の取組を今後も支援する必要がある。

		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	保育士等キャリアアップ補助事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市保育士等キャリアアップ補助金交付要綱 東京都保育士等キャリアアップ補助金交付要綱		
	目的	職務内容等に応じた賃金体系を設定し、保育士等の資質向上の計画に沿った研修の実施等を行う認証保育所に対し、保育士等に係る賃金改善に要する費用の一部を補助することにより、保育サービスの質の向上を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	要綱に定めるキャリアパス要件を満たし、補助対象施設・事業に従事する職員（非常勤職員を含み、経営に携わる法人等の役員である職員を除く。）の人件費のうち、賃金改善に要した費用とする。			
対象（交付先）	認証保育所及び小規模保育事業所（小規模保育事業所は令和4年度から対象）			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	賃金改善した保育士等の延べ人数	人	目標	456	456	456
			実績	144	326		
			達成率	32%	71%		
2			目標	-	-	-	
			実績	-	-	-	
			達成率	-	-	-	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
補助金	交付金額（千円）	5,628	7,409	10,254	
	一般財源	0	1,715	2,299	
	国都支出金	5,628	5,694	7,955	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	412	395	770	他市等の状況
	所要人員（人）	0.05	0.05	0.10	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（補助金+人件費）		6,040	7,804	11,024	-

交付団体等の決算予算の状況		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	交付団体等の令和4年度の市補助金の使途								
収入	総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円） 7,409							
	市補助金	-	-	-	人件費 7,409								
	会費	-	-	-									
	繰越金	-	-	-									
	事業収入	-	-	-									
支出	総額（千円）	0	0	0									
	交際費、飲食費	-	-	-									
	人件費	-	-	-									
	事業経費	-	-	-									
	その他	-	-	-									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">割合（％）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体収入に占める補助金の割合</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>団体収入に占める繰越金の割合</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>交付金額に対する繰越金の割合</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>						割合（％）		団体収入に占める補助金の割合	—	団体収入に占める繰越金の割合	—	交付金額に対する繰越金の割合	—
割合（％）													
団体収入に占める補助金の割合	—												
団体収入に占める繰越金の割合	—												
交付金額に対する繰越金の割合	—												

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない		
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和4年度から新たに小規模保育所大南つぼみ保育園が対象となったため、実績は延べ362人となり、前年度と比較して倍以上の保育士の賃金改善を行った。 【内訳】 認証保育所：延べ162人 小規模保育所：延べ164人	-


今後の方針

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

保育士等の働きやすい環境を整備するとともに、保育サービスの質の向上を図るため、保育士等のキャリアアップに向けた取組については、今後も実施する必要がある。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			今後の方針				成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
今後の方針																											
成果	コスト																										
	削減	維持	増加																								
向上																											
維持		○																									
低下																											

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	保育従事職員資格取得支援事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市現任保育従事職員資格取得支援事業補助金交付要綱		
	目的	市内の保育所等が雇用する保育従事職員が保育士資格を取得することを支援することにより、保育士資格取得者の拡充を図り、もって子どもを安心して育てることができる体制を整備することを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	保育士資格を有していない保育従事職員のうち、保育士試験を受験するための学習等に要した費用の一部を助成する。 対象経費：受験料（合格者には、教材費及び講習受講料を追加）			
対象（交付先）	市内の民間保育所			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	保育士試験受験者数	人
			実績	5	5	
			達成率	71%	71%	
2	保育士試験合格者数	人	目標	3	3	3
			実績	1	1	
			達成率	33%	33%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	72	66	1,370		-
一般財源	0	15	0		
国都支出金	72	51	1,265		
その他	0	0	105		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.05	0.05	0.05		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	484	461	1,767		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円） 66	
市補助金	-	-	-		その他 66	
会費	-	-	-			
繰越金	-	-	-			
事業収入	-	-	-			
その他	-	-	-			
支出	総額（千円）					
交際費、飲食費	-	-	-			
人件費	-	-	-			
事業経費	-	-	-			
その他	-	-	-			
					割合（%）	
					団体収入に占める補助金の割合	—
					団体収入に占める繰越金の割合	—
					交付金額に対する繰越金の割合	—

視点別の分析	公	益	性	有効性	効率性	類	市の関与は必要か		必要である		見直しの余地がある	
							市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
保育士試験受験者数は、令和3年度は2園・5人であり、令和4年度も2園・5人で同数となった。	本事業による保育士試験に係る補助は、合格することが要件であり、合格者には、2年分の教材費等が補助対象となるため、常に予算の確保が必要である。

今後の方針 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了


今後の方針		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

今後、保育士の不足が予想される中、保育従事職員の働きやすい環境を整備するとともに、保育サービスの質の低下に対しても対策が必要であることから、保育士の資格取得を支援する本事業は、今後も保育士確保のための取組として必須の事業である。

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	保育従事職員宿舍借上支援事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市保育従事職員宿舍借上支援事業補助金交付要綱		
	目的	保育従事職員のために宿舍の借上げを行う保育事業者に対して、その経費の一部を補助することにより、保育従事職員の確保を図り、もって児童福祉の向上に資することを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	事業者が実際に支出した額から寄附金その他の収入額を差し引いて得た額と、補助対象月数に82,000円を乗じて得た額とを比較して、いずれか少ない方の額に8分の7を乗じて得た額			
対象（交付先）	市内の民間保育所			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	宿舍を借り上げた保育従事職員数	人
			実績	46	43	
			達成率	77%	72%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
交付金額（千円）	24,696	22,659	39,690		-
一般財源	3,506	3,244	13,230		
国都支出金	21,190	19,415	26,460		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.10	0.10	0.10		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	25,520	23,448	40,484		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算			
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円） 22,659	
市補助金	-	-	-	-	事業経費 22,659	
会費	-	-	-	-		
繰越金	-	-	-	-		
事業収入	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
支出	総額（千円）					
交際費、飲食費	-	-	-	-		
人件費	-	-	-	-		
事業経費	-	-	-	-		
その他	-	-	-	-		
					割合（%）	
					団体収入に占める補助金の割合	-
					団体収入に占める繰越金の割合	-
					交付金額に対する繰越金の割合	-

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない		
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和3年度は、保育所13か所で対象者46名、令和4年度は、保育所13か所で対象者43名の利用があった。	東京都の時限立法の補助金である。

【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

保育士の確保は、保育所にとって喫緊の課題であり、受入児童数にも影響を及ぼすことから、保育従事職員の処遇向上を図ることは重要であり、保育従事職員の確保と定着につなげるため、今後も本事業を継続していく必要がある。


		今後の方針		
		コスト		
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

外部評価調書（補助金等）

事務事業名		保育従事職員宿舎借上支援事業	
所管部署		子ども家庭部 子ども青少年課 保育・幼稚園係	
視点別の評価	公益性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・一般市民にも間接的な受益があるか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・補助基準は明確か ・補助金の交付により期待された効果が得られたか 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・補助内容や補助額の見直しは可能か ・補助期間を設定しているか ・類似の補助金との統合は可能か 	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
総合評価	<p>本事業は、保育従事職員のために宿舎の借上げを行う保育事業者に対し、その経費の一部を補助するものであり、保育人材の確保に一定の成果を挙げていることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>また、本市独自の取組として補助の対象とする職員について採用後の年数による制限を設けず、保育人材の定着等につなげていることや、保育事業者からの毎月の報告により継続的に補助対象職員の在籍確認を行い、適正に運用していることは評価できる。</p> <p>よって、今後も補助金が適正に利用されていることを確認する体制を維持しながら、保育人材の確保に努めていくことが肝要である。</p>		

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	児童館親子ひろば事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	児童館 内線 565-3825
	根拠法令等	児童福祉法、武蔵村山市立児童館設置条例等		
目的	乳幼児とその保護者に交流の場を提供し、居場所づくりや子育て世代の負担軽減等を目的とする。	SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに		
内容	児童館の午前中の比較的利用者が少ない時間帯を利用し、乳幼児及びその保護者を対象に歌遊びや絵本の読み聞かせなどを行いながら交流や子育て相談できる居場所の提供を図る。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	事業開催回数	回
			実績	48	48	
			達成率	100%	100%	
2	事業参加者延べ人数	人	目標	1,200	1,200	1,200
			実績	1,002	1,123	
			達成率	84%	94%	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		1,822	1,822	1,822
財源内訳	一般財源	912	911	911
	国都支出金	910	911	911
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	80	77	77
	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01
	会計年度任用職員(千円)	41	43	43
	所要人員(人)	0.03	0.03	0.03
合計(事業費+人件費)		1,943	1,942	1,942

市民・議会等から寄せられた意見

市民から以下のとおり意見があった。


- 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策がされていたので安心して参加できた。
- 日頃のちょっとした悩みごとや心配ごとを相談できる。
- お友だちと関わって遊ぶ姿が見られて嬉しい。
- もう少し回数を増やしてもらいたい。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながらの実施であったため、年度開始当初は参加人数が少なかったが、年間を通して見ると前年度より参加人数が増加した。</p> <p>このような状況下においても、感染防止対策を講じながら、内容を工夫し予定どおりの開催ができた。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行したものの、今後も感染防止対策は継続する必要があるため、保護者や子ども同士の関わりを増やしながらか、より多くの乳児、保護者に参加してもらえるよう、活動内容や開催場所を工夫する。</p>

今後の方針																								
<p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>令和4年度は48回実施し、延べ1,123人の乳児及び保護者が親子ひろばに参加し、有意義な時間を過ごしている。また、一人で子育てし仲間づくりをしたい保護者もいる中で、本事業の存在意義は高まっている。</p> <p>なお、令和6年度から子ども子育て支援課の「健やかひろば事業」に統合されるため、本事業としては発展的に充実するものである。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	子ども食堂推進事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部 子ども子育て支援 課 子ども家庭支援センター 係 内線 621		
	根拠法令等	武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画		
目的	民間団体等が行う地域の子どもやその保護者への食事や交流の場を提供する取組に対し、補助金を交付することにより安定的な実施環境を整備し、地域に根差した活動を支援することを目的とする。	SDGsの取組 2 飢餓をゼロに 		
内容	以下の内容を行う。 (1)子ども食堂を開設し、同所で子ども等へ食事や交流の場を提供すること。 (2)子ども食堂にて料理等した弁当や食材を配食又は宅食すること。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	子ども食堂の実施数	か所
			実績	3	5	
			達成率	75%	125%	
2			目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		949	2,642	5,540		—
財源内訳	一般財源	466	378	1,440		
	国都支出金	483	2,264	4,100		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	479	459	462		
	所要人員(人)	0.06	0.06	0.06		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		1,428	3,101	6,002		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が残る中、東京都の子ども食堂支援策の充実もあり、堅調に子ども食堂の実施数が増加した。 また、令和4年度末時点において、既に数件の子ども食堂の開設相談を受けており、今後も実施数の増加が見込まれる。	現在は、東京都の子ども食堂支援策の充実もあり、本市においても子ども食堂に対して手厚い財政的な支援を実施することが可能となっているものの、今後の国や東京都の方針によっては流動的となるリスクもあり、国や東京都の施策を注視する必要がある。 なお、現在実施している子ども食堂は、開催日や開催場所のばらつきがあることから、市が調整し平準化を図ることも考える必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
令和4年度末時点において、既に数件の子ども食堂の開設相談を受けており、それらが全て開設することができた場合は、7か所程度の子ども食堂の実施となることから、運営団体に補助金を交付することにより財政的な支援を行う。 また、財政的な支援のみならず、運営面等についても社会福祉協議会と協働しながら、円滑な子ども食堂の開設に向けた支援を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	新・放課後子ども総合プラン事業			
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援			
	所管部署	教育 部	文化振興 課	生涯学習 係	内線 652
	根拠法令等	武蔵村山市放課後子供教室実施要綱			
目的	放課後の余裕教室等を活用し、地域住民の参加及び協力を得て、子供たちの安全で健やかな居場所づくりを推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	子供たちの安全で健やかな居場所づくりのため、学校給食のある日の放課後に余裕教室等を活用し、地域住民の参加及び協力を得て、午後5時まで放課後子供教室を運営している。併せて学校と学童クラブが隣接している小学校については、一体型事業の推進をしている。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	放課後子供教室の実施校数	校	目標	9	9	9
				実績	7	9	
達成率				78%	100%		
2	学童クラブと一体型の運営を行う放課後子供教室の設置校数	校	目標	6	6	6	
			実績	5	6		
			達成率	83%	100%		


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		32,760	37,009	50,646		-
財源内訳	一般財源	15,447	14,448	28,905		
	国都支出金	17,313	22,561	21,741		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,393	3,286	3,308		
	所要人員(人)	0.30	0.43	0.43		
	会計年度任用職員(千円)	403	501	499		
	所要人員(人)	0.30	0.35	0.35		
合計(事業費+人件費)		35,556	40,796	54,453		

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性	見直し	非該当
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>令和4年9月から、未実施であった第三小学校及び第十小学校で放課後子供教室を開始したことにより、市内全小学校での実施となった。</p> <p>放課後子供教室と学童クラブの一体型事業については、実施に向け調整を行ったが、新型コロナウイルス感染症の感染状況及び学童クラブ職員の意見等により、実施を見送った。</p>	<p>事業に従事するコーディネーターやサポーターを務める地域住民等の人材を十分に確保できていない学校があり、今後の安定的な事業運営及び推進に当たり、人材の確保が大きな課題となっている。</p> <p>参加児童数が多い学校においては、余裕教室がなく、放課後子供教室の実施場所の確保も課題である。また、原則として、参加を希望する全ての児童を受け入れているが、コーディネーターやサポーターでは手に負えない児童もあり、児童及び保護者への対応に苦慮している。</p>

今後の方針																								
<p>【今後の方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>令和4年9月より、市内全小学校で放課後子供教室を実施することができたため、今後も継続していけるよう注力していく。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の予防等のため実施を見送っている放課後子供教室と学童クラブの一体型事業についても、実施できるよう検討、推進していく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和5年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	老人福祉施設整備費助成事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 3 高齢者福祉		
	所管部署	健康福祉部	高齢福祉課	管理係 内線 632
	根拠法令等	①武蔵村山市社会福祉法人に対する助成に関する条例、②武蔵村山市社会福祉法人に対する助成に関する条例施行規則、③武蔵村山市老人福祉施設等整備助成要綱、④令和5年度地域密着型サービス等整備助成事業補助金交付要綱、⑤令和5年度東京都介護施設等の施設開設準備経費等支援事業補助金交付要綱		
	目的	在宅での介護が困難な高齢者が、身近な施設を利用できるように民間活力を導入しながら、老人福祉施設の整備を促進する。また、社会的援護を必要とする高齢者の増加に伴い、地域の中で生活ができるよう地域密着型サービスの充実を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	社会福祉法人が設置する特別養護老人ホーム等の建設費の一部を補助するものである。定期巡回・随時対応型訪問介護看護を開始する事業者を公募により指定を行い、開設に係る経費を補助するもの。			11 住み続けられるまちづくりを 
対象（交付先）	社会福祉法人恭篤会特別養護老人ホームむさし村山苑、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所を新規開設する事業者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	市内の特別養護老人ホーム3施設（伊奈平苑、サンシャインホーム、むさし村山苑）のうち助成を行う施設数	施設
2	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の新規開設	施設	実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
			目標	1	1	1
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
			目標	1	1	1

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算		
補助金	交付金額（千円）	9,553	9,553	26,219	-
	一般財源	9,553	9,553	26,219	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	459	462	他市等の状況 近隣市（東大和市、東村山市、溝瀬市、東久留米市）においても、社会福祉法人が設置する特別養護老人ホーム等の建設費の一部を市単独補助にて実施している。
	所要人員（人）	0.01	0.06	0.06	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（補助金+人件費）		9,633	10,012	26,681	

交付団体等の決算予算の状況	令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算		
	収入	総額（千円）	0	0	0	0	0	0	0
市補助金		-	-	-	-	-	-	-	-
会費		-	-	-	-	-	-	-	-
繰越金		-	-	-	-	-	-	-	-
事業収入		-	-	-	-	-	-	-	-
支出	総額（千円）	0	0	0	0	0	0	0	0
	交際費、飲食費	-	-	-	-	-	-	-	-
	人件費	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業経費	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-

交付団体等の令和4年度の市補助金の使途	
交付金額（千円）	9,553
使途内訳	
割合（％）	
団体収入に占める補助金の割合	—
団体収入に占める繰越金の割合	—
交付金額に対する繰越金の割合	—


視点別の分析	項目	評価		評価	
		○	△	○	△
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
有効性	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	受益がある	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない
効率性	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	明確である	<input type="checkbox"/>	不明確な部分がある
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	効果がある	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある
類似の補助金との統合は可能か	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある
	補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/>	設定している	<input checked="" type="checkbox"/>	設定していない
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある

令和4年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和4年度は、社会福祉法人恭篤会特別養護老人ホーム「むさし村山苑」施設整備費として9,553千円の補助金を交付した。なお、新規開設の公募に対する応募事業所はなかった。	-

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
社会福祉法人が設置する特別養護老人ホーム等の建設費の一部の補助や、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を新規開設する事業者に対する開設に係る経費の補助により、介護保険サービス基盤の充実を図り、もって高齢福祉の向上及び本市における入所待機高齢者の減少に寄与できることから現状を維持し対応していく必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 3 高齢者福祉		
	所管部署	健康福祉 部	高齢福祉 課	高齢者支援 係 内線 632
	根拠法令等	武蔵村山市在宅医療・介護連携支援センター事業実施要綱		
	目的	高齢者が住み慣れた地域での生活を継続していただけるよう、市、地域包括支援センター、医療機関、介護サービス事業所、地域住民等の連携強化を図る。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 	
内容	医療と介護の連携強化を図るため、在宅医療・介護連携推進協議会及び在宅医療・介護連携支援センターの運営を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	在宅医療・介護連携推進協議会の開催件数	件
			実績	2	3	
			達成率	67%	100%	
2	多職種連携研修会及び専門職勉強会の開催件数	件	目標	4	4	4
			実績	4	4	
			達成率	100%	100%	


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		9,919	10,017	10,514	
財源内訳	一般財源	1,909	2,442	2,024	
	国都支出金	5,715	5,647	6,569	
	その他	2,295	1,928	1,921	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,792	2,675	2,693	
	所要人員(人)	0.35	0.35	0.35	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		12,711	12,692	13,207	

視点別の分析	内容	評価	
		必要である	見直しの余地がある
妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
令和4年度は、継続して、地域における医療・介護資源情報を活用し、市内関係機関に情報提供を行った。 在宅医療・介護連携に関する関係機関への相談支援では、多職種が集う研修会で事業マネジメントの基本を共有した。 また、医療・介護関係者向けの研修会では、関係者が精神疾患が疑われる方へ不安なく対応できるよう精神疾患関連の医療知識や、身寄りのない方への支援について学ぶ機会を設けた。その他、前年度に引き続き、地域住民へ正しい知識を身につけてもらうため、在宅療養をテーマとした映画のオンライン上映を行い、普及啓発を実施した。	以前は、地域住民向けの施策として講演会を開催していたが、コロナ禍以降はオンライン上映による普及活動に留まっている。上映についても専門職の視聴割合が多く、住民参加型の企画等により、地域住民の理解促進を向上させる必要があると考えている。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
引き続き、本市の実情に沿って、専門職が互いの専門性を理解し、市民が安心して暮らせるまちづくりに向けた事業を検討する。 在宅医療・介護連携支援センターの相談支援対応や多職種連携研修会を通じて、専門職が本事業について十分に理解するよう取り組む。また、新たに市内専門職へのアンケート調査等を通じ、多職種で捉えている課題の抽出、整理を行う。前述の多職種研修会やアンケート調査の実施に向けて、協議会での協議及び下部組織の推進部会での調整が重要であり、予定回数の開催に臨む。 また、令和4年度の行政評価委員会による外部評価において、市民からの相談に対して積極的に対応するよう意見されたことについては、住民参加型の講演会を開催する等、より一層の普及啓発によって理解促進を図る。なお、個別具体的な相談は、医療ソーシャルワーカー、地域包括支援センター又は本人等と契約した居宅介護支援事業所に対して行うことが適切であるため、当連携支援センターでの実施は見込んでいない。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	生活支援体制整備事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 3 高齢者福祉		
	所管部署	健康福祉 部	高齢福祉 課	地域包括ケア 係 内線 632
	根拠法令等	武蔵村山市機能強化型地域包括支援センター管理運営に関する要綱		
目的	各地域包括支援センターの圏域における生活支援体制整備を推進し、センター全体の機能強化を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	機能強化型地域包括支援センター管理運営委託により実施している。機能強化型地域包括支援センターを設置し、市内の地域包括支援センターの適正な運営の確保、生活支援体制整備業務に関する支援、市と各地域包括支援センターとの連携強化を行う。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	生活支援コーディネーターの設置人数	人	目標	5	5	5
				実績	5	5	
達成率				100%	100%		
2	-	-	目標	-	-	-	
			実績	-	-		
			達成率	-	-		


事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		5,500	5,500	5,500	
財源内訳	一般財源	2,750	2,750	2,750	
	国都支出金	2,750	2,750	2,750	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,596	1,529	1,539	
	所要人員(人)	0.20	0.20	0.20	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		7,096	7,029	7,039	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>市内の地域包括支援センターを統括し、総合的に支援する機能強化型地域包括支援センターを設置することで、市内の地域包括支援センターの適正な運営を確保し、機能強化を推進した。</p> <p>主な活動実績は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ネットワークの構築(169.2/人日) 小地域ケア会議・ワーキングチームの開催等 ●管内の統括・調整(47.2/人日) 助け合い部会の開催、生活支援等検討会の開催等 ●人材育成(12.7/人日) お互いさまリーダー交流会、サロン交流会、リーダー養成講座の実施等 	<p>高齢化の進展に伴う適切な人員体制の確保が課題である。</p>

今後の方針																								
<p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>各地域包括支援センターに設置した生活支援コーディネーターを中心とし、高齢者の生活支援・介護予防サービスの提供体制の充実を図り、住民主体の生活支援、移動支援等の体制整備を行っており、ケアマネジメントの質の向上、地域課題の発見を進めるため、引き続き、市内の地域包括支援センターの適正な運営を確保し、機能強化を推進する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	高齢者見守り相談室運営事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 3 高齢者福祉		
	所管部署	健康福祉 部	高齢福祉 課	地域包括ケア 係 内線 632
	根拠法令等	武蔵村山市高齢者見守り相談室事業実施要綱		
目的	一人暮らし高齢者など孤立しがちな高齢者の不安や問題を解決し、在宅生活の安心と安全を確保することを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	都営村山団地45号棟で実施している高齢者見守り相談室の運営を委託し、主に以下の手段により事業を行う。 ①主に訪問により高齢者の生活実態の把握を行うこと。 ②関係機関と連携し高齢者に対する見守りを行うこと。 ③高齢者から相談を受けること。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				1	見守り対象者名簿に登録された者に対し実際に見守りを行った件数の割合	%
			実績	88.0	91.2	
			達成率	98%	101%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				令和3年度決算			令和4年度決算			令和5年度予算			市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）				17,453			17,453			17,453			
財源内訳	一般財源			11,467			11,467			11,467			
	国都支出金			5,986			5,986			5,986			
	その他			0			0			0			
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			479			459			462			
	所要人員（人）			0.06			0.06			0.06			
	会計年度任用職員（千円）			0			0			0			
	所要人員（人）			0.00			0.00			0.00			
合計（事業費+人件費）				17,932			17,912			17,915			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	
	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●相談受付件数：延べ3,016件 ●見守り活用実施件数：見守り対象者名簿に登録されている高齢者3,310人のうち3,019人（91.2%） 	緑が丘地区の高齢化率は既に50%を超えており、今後ますます進行していくことが予想されることから、事業実施体制の安定的な確保が課題となる。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 高齢者福祉の質の確保のために本事業を継続し、今後の更なる高齢化の進展に備えて、引き続き事業実施体制の安定的な確保について、受託者と調整しながら検討していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	認知症施策推進事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 3 高齢者福祉		
	所管部署	健康福祉 部	高齢福祉 課	地域包括ケア 係 内線 632
	根拠法令等	介護保険法、認知症施策推進総合戦略		
目的	認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域での支え合いの体制づくりを推進することを目的とする。		SDGsの取組	3 すべての人に健康と福祉を
内容	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症初期集中支援チームの運営 ●認知症カフェの運営支援 ●認知症サポート医研修の受講支援 ●認知症ケアパスの作成（令和4年度のみ） 			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	認知症初期集中支援チームの支援件数 ※目標値は設定していない。	%	目標	—	—	—
				実績	—	2	7
達成率				—	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—	—	
			達成率	—	—	—	

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		306	748	936	
財源内訳	一般財源	59	144	180	
	国都支出金	177	432	541	
	その他	70	172	215	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,197	1,147	1,154	
	所要人員（人）	0.15	0.15	0.15	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		1,503	1,895	2,090	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>
効果率	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>
類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	


令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
<ul style="list-style-type: none"> ●認知症初期集中支援チームの支援件数 7件 ●認知症市民講演会の実施 4回 	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症初期集中支援チームの運営及び医師や専門職の活動支援の強化 ●認知症カフェ運営に係る財政的支援の強化 ●市内の認知症医療体制の充実のため、認知症サポート医の養成の支援 ●認知症ステップアップ講座を修了した市民との認知症事業の協働

今後の方針																								
<p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>引き続き、認知症に対する正しい知識の普及啓発を行い、支援を必要とする方（支援対象者）の掘り起こしや、相談者にとっても利用しやすい制度となるよう改善を図りつつ、地域での支え合いの体制づくりを推進する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

外部評価調書（事務事業）

事務事業名		認知症施策推進事業	
所管部署		健康福祉部 高齢福祉課 地域包括ケア係	
視点別の評価	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・市の関与は必要か ・市民のニーズに適合しているか ・市民との協働により事業を実施しているか 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止・休止とした場合の市民への影響 ・受益者負担は適切か ・施策への貢献度は適切か 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 適切でない
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託等は可能か ・事業費の更なる削減は可能か ・類似事業等との統合は可能か 	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない
今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	
総合評価	<p>本事業は、認知症の人やその家族を対象として地域での支え合いの体制づくりを推進することを目的としており、一定の意義が認められる。また、支援対象者を適切な医療・介護サービスにつなげている実績があり、認知症に対する理解を深めていく上で一定の効果が認められることから、今後も継続することが適当である。</p> <p>他方、本事業は、認知症サポート医研修の受講支援や認知症カフェの運営支援、認知症初期集中支援チームの運営、「チームオレンジ」の活動支援など多岐にわたるが、周知が不足しているものもあるため、支援を必要とする人が確実に利用できるよう、周知方法について工夫改善することを求めたい。</p> <p>また、高齢化の進展に伴い認知症患者等の支援対象者の増加が見込まれることから、本事業の利用ニーズが更に高まることを念頭に置き、適正な支援体制を維持しながら継続していくことが肝要である。</p>		

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	地域生活支援拠点整備事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 4 障害者福祉		
	所管部署	健康福祉 部	障害福祉 課	認定審査 係 内線 642
	根拠法令等	障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の円滑な実施を確保するための基本的な指針		
	目的	障害者の重度化・高齢化や親亡き後を見据えた、居住支援のための機能を持つ場所や体制を整備し、障害者が地域で生活できるように支援する。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	居住支援のための機能（①相談、②緊急時の受入れ・対応、③体験の機会や場、④専門的人材の確保・養成、⑤地域の体制づくり）を、地域の実情に応じ創意工夫により整備する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	地域生活支援拠点の整備	—	目標	検討	検討	検討
				実績	検討	検討	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		0	0	0
財源内訳	一般財源	-	-	-
	国都支出金	-	-	-
	その他	-	-	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	80	77	77
所要人員（人）		0.01	0.01	0.01
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
		0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		80	77	77

市民・議会等から寄せられた意見


—

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
事業実施に向けて緊急時の受入れ・対応について社会福祉法人あすはの会と協議を実施するとともに、他自治体の取組等を確認した。	地域生活支援のための五つの機能について、市内の事業所の協力を得て実施する必要があり、今まで以上に各事業所と連絡調整が必要となる。

今後の方針																	
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																
地域生活支援拠点とは、障害者の重度化・高齢化や親亡き後を見据え、居住支援のための機能を持つ場所のことであり、その機能を地域の実情に応じ創意工夫により整備し、障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築することとしている。この機能には主に五つの柱があり、相談については基幹相談支援センターが対応し、他の4つを本事業で実施することとしている。 このうち、緊急時の受入れ・対応について令和5年度中に市内事業所と協定を締結する予定である。	今後の方針 コスト <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		削減	維持	増加	向上				成果維持		○		低下			
		削減	維持	増加													
	向上																
成果維持		○															
低下																	
	（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）																

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	基幹相談支援センター運営事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 4 障害者福祉		
	所管部署	健康福祉 部	障害福祉 課	認定審査 係 内線 642
	根拠法令等	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律		
	目的	地域において障害者が障害福祉サービスを利用し、自立した日常生活又は社会生活ができるように相談等の業務を総合的に行うため、基幹相談支援センターを設置する。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 	
内容	障害者の相談等の業務を総合的に行うため、障害者地域自立支援センター（社会福祉協議会）、精神障害者地域活動センターお伊勢の森（医療法人社団円祐会）及び福生第二学園（社会福祉法人あすはの会）の3事業所の設置を予定している。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1	基幹相談支援センターの運営	—	目標	検討	検討	検討
				実績	検討	検討	
				達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費（千円）		0	0	0
財源内訳	一般財源	-	-	-
	国都支出金	-	-	-
	その他	-	-	-
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	240	230	231
	所要人員（人）	0.03	0.03	0.03
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		240	230	231


市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か <input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある 市民のニーズに適合しているか <input type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 市民との協働により事業を実施しているか <input type="checkbox"/> 実施している <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響 <input type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 受益者負担は適切か <input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 施策への貢献度は適切か <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	民間委託等は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当 事業費の更なる削減は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 類似事業等との統合は可能か <input type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
社会福祉協議会、医療法人社団円祐会及び社会福祉法人あすはの会とそれぞれ個別に事業内容を説明して意見交換等を行った。	相談業務に対応する職員の確保が困難な状況にあり、今後もこの状況は継続すると考えられる。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 基幹相談支援センターは、地域の相談支援の中核的な役割を担う機関として、身体障害者、知的障害者及び精神障害者への相談支援業務を総合的に実施するとともに、地域の実情に応じて権利擁護・虐待防止、地域移行・地域定着などの業務を行うものである。 本市ではそれぞれの障害に応じて三つの事業所の設置を予定しており、次期障害福祉計画の計画期間において、センターの設置に向けて各事業所と継続的に協議を実施する予定である。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和5年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	障害者就労支援センター運営事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 4 障害者福祉		
	所管部署	健康福祉 部	障害福祉 課	手当助成 係 内線 642
	根拠法令等	東京都区市町村障害者就労支援事業実施要領 武蔵村山市障害者就労支援センター事業実施要綱		
	目的	障害者の一般就労の機会の拡大を図るとともに、障害者が安心して働き続けられるよう、身近な地域において就労面と生活面の支援を一体的に提供することにより、障害者の一般就労を促進し、もって障害者の自立と社会参加の一層の促進に資する。		SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も
内容	就労面の支援として、職業相談、就職準備支援、職場開拓、職場実習支援、職場定着支援、離職後の支援を、生活面の支援として、日常生活支援、職業生活を続けるための支援等を、地域開拓面の支援として、就労希望者の掘り起こしや意識改革、障害者雇用に取り組む企業等への支援等を実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
				1	新規就職者数	人	目標	40	40	40
							実績	36	36	
達成率	90%	90%								
2	就労支援・生活支援件数	件	目標	-	-	-				
			実績	10,932	10,757					
			達成率	-	-					

事業経費		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費(千円)		18,650	21,630	21,770
財源内訳	一般財源	10,345	10,815	10,644
	国都支出金	8,305	10,815	11,126
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		18,650	21,630	21,770

市民・議会等から寄せられた意見	
-	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和4年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
地域開拓促進コーディネーターが働きかけ、住み慣れた地域で就労することにより離職者を抑制するとともに、定着支援で実績を上げた。 ●登録者延べ453人 ●就労支援7,595件 ●生活支援3,162件 ●新規就職者36人(一般就労29人) ●地元企業や新規開拓企業へ就労が繋がったケース13件	就労支援センターの運営に当たっては、障害者一人一人に寄り添った伴走型支援により対応するため常勤職員3人(就労支援コーディネーター2人、生活支援コーディネーター1人)、非常勤職員1人(地域開拓促進コーディネーター)を配置する必要があるため、社会保険料を含めた人件費の削減が困難であることが課題である。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 「武蔵村山市第五次障害者計画」の基本目標の一つに「障害のある人がいきいきと参加しているまちづくり」を掲げ、障害者の就労、経済的自立の支援・促進を目指していることから、就労支援の取組、経験を積み重ね、関係機関や各種事業所等とのネットワークを構築した就労支援センターを基盤として、支援体制を充実させることが重要である。併せて、一般企業による雇用の促進や福祉的就労の推進に向け、障害への理解や就労環境の改善に積極的に取り組むことが必要であるため、今後も本事業を継続すべきと考える。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)